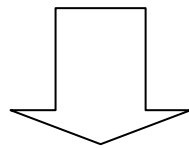


## 東区まちづくり懇話会 協議項目

## 1 まちづくり懇話会からの提案に対する取組み

## (1) 東区民まつり開催経費【継続】

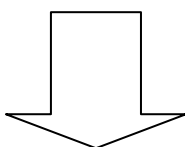
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	東区民まつりは、東区まちづくりビジョンの基本方針の一つである「人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち」をめざし、区内における様々な地域団体、学校等が参加協力して区民相互の交流と親睦を深め、区民の連帯感やふるさと意識の醸成を図ることを目的とし、本市が政令指定都市に移行した翌年度の平成 25 年度から毎年 11 月に開催している。	
課題	区民主体による自主自立のまちづくりを進めるにあたっては、区民や団体、企業等が協力・連携し、それぞれが主体的に取り組んでいく必要がある。 そのような中、企画運営全般を行政主導で行っていることから、区民主体のまちづくりを推進していくにあたっては、区民等が企画立案の段階から積極的に参加できる形に方向転換していく必要がある。	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民まつりについては、地域の活性化という面から各地域の持ち回り開催はできないのか。</li> <li>・現在の 2～3 倍の規模にしなければ、区の PR にならない。全校区の区民が参加できる仕組みが必要。</li> </ul>	



対応方針・新たな取組み	「(仮称) 東区民まつり実行委員会」を設置し、区民をはじめ地域団体、学校、企業、区役所等がそれぞれの立場で、区民まつりに主体的に参画できる環境を整備していく。その運営の中で、開催場所及び規模等について検討する。
-------------	---

(6) 地域防災合同訓練事業【継続】

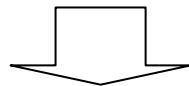
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	3 災害に強いまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	校区で行う防災訓練を支援しているが、実施校区の固定化が見られ、過去に実施したことのない校区も新たに行うことが望ましい。	
課題	過去に訓練を実施したことのない校区に対して、そのノウハウや実施することによる効果を伝える場がなかったため、実施内容や準備などの方法が分からないことが、新規に取り組む校区が少ない原因の一つと考えられる。	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域防災合同訓練は、18校区全体の防災訓練をしてはどうか。</li> <li>・ 東区全体での防災訓練ができれば、防災意識も向上し、自主防災クラブがない町内も必要性を感じるのではないか。</li> <li>・ 防災については、モデル事業を発表する場を設けたり、ノウハウを伝授していくのも大事だと思う。</li> <li>・ <u>区全体での開催が難しいのであれば、出張所単位での開催はできないか。他校区の様子もわかり、防災意識の向上にもつながるのではないか。</u></li> <li>・ <u>地域によって防災意識の温度差がある。また、防災意識の向上という面で考えれば、実際に起震車等の体験ができる小規模の訓練も効果があるのではないか。</u></li> <li>・ <u>訓練への参加促進のため、参加者へ啓発品を配布してはどうか</u></li> </ul>	



対応方針・新たな取組み	<p>まずは、防災意識の啓発・高揚を図るため、東区内の自治協の構成団体等を対象に、研修会（勉強会等）を開催する。</p> <p>内容としては、校区防災訓練をすでに実施している校区の自主防災クラブ会長などから、準備の方法や過去の問題点、実施後の効果などの事例発表をしていただく。</p> <p><u>研修会后、各校区に持ち帰っていただき、各校区ごとに検討いただくことで、防災意識の向上を図るとともに防災訓練への参加促進につなげていく。</u></p>
-------------	--

(3) 東区の七不思議発掘事業【新規】

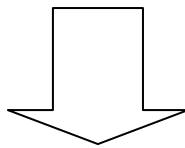
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進 3 地域の歴史・文化の活用
現状・背景・地域ニーズ	9月5日(土)に「東区中学生による未来会議」を開催し、6校11名の参加があり、ワークショップ形式による意見交換を行なった。 まちの活性化のため、もっと東区の魅力を外に発信したい旨の意見があった。	
課題	東区の魅力を外にPRするにあたっては、自分たちの住むまちを再認識する必要がある。	
中学生提案	中学生による未来会議において、「地域のことをもっと知りたい」「東区の魅力をもっとPRした方がいい」との考えから、「東区の七不思議を作ると面白い」等の意見があった。	
懇話会意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットとする年齢層、参加者を増やす方策、事業を継続していくための仕組みづくりが必要である。企画段階で明確な方向性を決めるべき。</li> <li>具体的な行程表を作成し、進行管理が必要である。</li> </ul>	



対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分達が住むまちを再認識し愛着を高めるため、また、まちづくりや交流の活性化を目指して、東区の七不思議の発掘に取り組む。</li> <li>各自治会に呼びかけを行い、参加する地域の子ども会やPTA、老人会等が連携して地域の言い伝えなどの歴史を学び、東区の七不思議を発掘・創造する。</li> <li>完成後は、広報誌やweb等の広報媒体を活用し情報発信していく。</li> <li>七不思議を決定後は、区のみならず全市的さらには市外に向けて発信し、東区の愛着を醸成し、さらには、まちおこしの起爆剤とし交流人口の増加を図っていく。</li> <li>平成28年度は七不思議の発掘を行い、翌年度からは事業の展開を計画的に行なっていく。</li> </ul>
-------------	--

(7) 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	3 みんなで助け合う福祉のまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	高齢化を背景に、認知症を有する人も増えており、声かけや見守り、介護状態になることをできる限り防ぐという取り組みの必要性が高まっている。	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症徘徊模擬訓練を通し、「認知症をよく知る」ための事前勉強会の重要性が明らかになってきた。</li> <li>・地域全体で見守り支えあう体制づくりを広めていく必要性が明らかになってきた。</li> <li>・介護予防サポーターをはじめとした地域におけるマンパワーの確保が課題である。</li> </ul>	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症徘徊模擬訓練は年1校区では間に合わないので増やしてほしい。</li> <li>・<u>認知症訓練についてのレクチャー依頼等、居宅介護支援事業所に在籍するケアマネージャーを活用してはどうか。</u></li> </ul>	



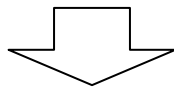
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への理解を深める勉強会を実施する事で、高齢者を地域全体で見守り支えあう体制づくりの意識を高め、「ネットワークづくり」に取り組む。</li> <li>・介護予防サポーターや圏域内の介護保険事業所の協力を得ながら、各組織が連携し地域主体で取組むことができるよう支援していく。<u>また、居宅介護支援事業所等の様々な関係事業所へも呼びかけていきたい。</u></li> </ul>
-------------	--

## 2 区提案の取組み

### (6) 東区健康まちづくりサポーター養成事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>少子高齢化の進展や住民の生活スタイルの多様化に伴い、生活習慣病予防・介護予防の必要性が高まっている。住み慣れた地域で生涯健康でいきいきと暮らし、子育て世代・壮年期・高齢者等それぞれの世代に応じた対応や働きかけが求められている。平成 24 年度から小学校区単位の健康まちづくり事業の推進に取り組んでいる。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18 校区全てに、健康まちづくりを推進するサポーター養成を目指しているが、養成講座を開始して 3 年目であり、まだサポーターがいない校区がある。</li> <li>・ サポーターによる健康増進の取組みや啓発を継続していくため、サポーターの継続的な活動の場や、活動促進の仕組みが必要である。</li> </ul>	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27 年度に設立した「健康まちづくり推進員協議会」の運営支援</li> <li>・ 健康まちづくり推進員の活動の支援（各校区での活動を計画的に行う）</li> </ul>	

懇話会意見	<p><u>サポーターの卒業生については、学んだことを生かしていくためにも、研修会等への参加呼びかけを行うなど、継続して関わる意識を持つ方策が必要。</u></p>
-------	--

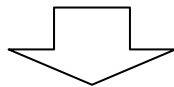


意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>自ら地域活動に必要な知識・技術を学び、自主的な活動を行なってもらうために「健康まちづくり推進協議会」を今年度設立したところである。</u></li> <li>・ <u>健康まちづくりサポーターのフォローアップ研修等を実施しており、継続的に学習する機会はあるため、この取組みを継続していく。</u></li> </ul>
--------	---

(9) 東区農業者ネットワークづくり推進経費【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	5 暮らしやすく活気あふれるまち
	重点的テーマ	1 地域に根ざした経済の活性化
現状・背景・地域ニーズ	<p>農業は高齢化、後継者不足、内外価格差等の大きな課題をかかえ、また特に東区にあっては住農混在が進み、住民の理解が得られないと農業がやりづらい状況になっている。このような状況の中で、今後の農地・農業関係を見据えながら家族経営、小規模経営への影響等を考慮に入れ、足腰の強い地域農業の確立を図っていく必要がある。</p>	
課題	<p>農地の荒廃、基幹労働力の高齢化など地域農業における生産性の低下、また、これからの農業の再構築のため多面的機能を維持、強化し、農業を通じて地域活性化や伝統文化を守っていく必要がある。このことから農業をはじめ、それを取り巻く関係機関、団体等が一堂に会し、今後の農業情勢の急激な変化への柔軟な対応に努める。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>平成 28 年度 of 取組み</p> <p>①東区未来の農業を考える検討会の開催 東区管内の農区代表者、認定農業者協議会の代表、農業団体、地域の代表者等により構成し、5 年後、10 年後の農業を見据えて農業の抱える問題課題とこれからの新たな展開について意見交換をする。</p> <p>②東区アグリネット関連事業 次代を担う若手農業者の農業経営の確立に向け経営講座、異業種交流、消費者交流の開催</p> <p>平成 28 年度の主な取組み 農業経営の決定権委譲に向けたステップアップについて 農畜産物即売会の充実強化 新たな農業経営を目指して協業化と流通改善・戦略等について部会を設け、検討する。</p>	

懇話会意見	<p><u>広く浅くといった支援も良いが、子育て世代の後継者達にとって、やりがいのある臨機応変な支援をお願いしたい。</u></p>
-------	--



意見への対応	<p><u>農業政策については、国政レベルの様々な検討がなされていくため、必要な情報については、農業後継者や新しく農業に携わる方にも伝えていきたい。そのことを踏まえ、本市の農業振興に努めていく。</u></p>
--------	---